

二番町地区地区計画変更素案に対する関係地権者からの意見書の提出状況

意見書の提出期間 令和4年11月10日(木)～12月1日(木)

※縦覧期間 令和4年11月10日(木)～11月24日(木)

【明確に賛成】 47件

- ・高さ90mとすることで、建築面積を抑え圧迫感が少なく、足元空間が広がるだけでなく、かえって青空もよく見える。
- ・番町にはたくさんのマンションができ、麴町駅の番町口を利用する人が増加している中で、麴町口のフルスペックのバリアフリー化が計画されており、バリアフリーの設置・維持・管理等についても責任をもってあたってくれる。
- ・地域交流の場、子供の遊び場となる緑豊かな青空広場は、急増している子育て世代にとって必要で、今や欠かせないものである。園庭代わりに利用している保育園のことを考えると、青空広場の広さ2,500㎡としている今回の提案は妥当と考える。
- ・本再開発が人を集めるだけでなく、地域住民が主体的に携われるまちづくりの大きな一歩となるのではないか。
- ・青空広場が災害時に頼りになる場所、学校などの既存避難所の機能を補完できる場所として整備されることは、二番町住民だけでなく、隣接する他の避難区域にとっても助かると思う。

【明確に反対】 49件

- ・文教地区であるの二番町において、90mの高さの高層ビルは、「広場」と「賑わい」と引き換えというのには、90mは高すぎて釣り合わない。
- ・多少便利になる事は良いとしても、賑やかな商業は不要と思う。
- ・イベント広場は必要ない。既に他地域の方が番町広場周辺を荒らし、大変困っている。
- ・ビル風の突風を受けやすくなり、子どもや高齢者を危険に晒す可能性がある。
- ・すでに既存道路・駅等は流入する労働人口等で容量が一杯であると感じる。

【その他】 2件

- ・日本テレビが地権者や住民に対する配慮のもと責任を持って計画するべきで、反対・賛成の立場を明確にしない
- ・時代と共に人々の生活基準や価値観、そして経済状況も変わる。様々な要因を加味すると、「昔ながらの閑静な番町エリア」を永遠に残すことは難しいだろうし、そもそも残すことがベストかも分からない。